

第44回JCCP国際シンポジウム

“揺れる世界、ソフトパワーが紡ぐサステイナビリティ – エネルギーの共創と進化”

日時：2026年1月29日（木）10:00-17:30 オークラ東京



開会式



来賓挨拶：和久田 肇 経済産業省
資源エネルギー庁資源・燃料部長



開会挨拶：西 克司 理事長

今回のテーマは、「**揺れる世界、ソフトパワーが紡ぐサステイナビリティ エネルギーの共創と進化**」。地域紛争など世界的に緊張が高まる中で、グローバルな重要課題である地球温暖化問題に的確に対応するには、相互理解と信頼を紡ぐ「**ソフトパワー**」が重要な役割を果たします。そして、サプライチェーンに関わる国や組織が、共に協力し共に創り上げる「**共創**」、それらを発展・進化させることが、極めて重要です。

本シンポジウムでは、基調講演及び両セッションを通じて、登壇された石油関連のVIPの豊富で多様な知識や経験に、約260名の会場参加者が触発され、「**ソフトパワー**」「**共創**」「**進化**」という視点から、持続可能な未来に向けた具体的な行動について考える良い機会となりました。

基調講演と特別講演



田中伸男
元IEA事務局長



H.E. Eng. Majed Hindi Al-Uteibi
サウジアラビアエネルギー省 次官



Ms. Mariam Al Suwaidi
ADNOC Drilling 上級副社長



Dr. Fereidun Fesharaki
FGE 名誉会長

基調講演では、VIPたちが「共創」「進化」の重要性を指摘しました。田中伸男元IEA事務局長からは、エネルギー安全保障と脱炭素の同時達成に向け、国や組織を越えた国際連携と共に創の重要性が示されました。サウジアラビアのマジェド・ヒンディ・アルウタイビ次官は、エネルギー安定供給を基盤とした信頼を「ソフトパワー」として、多様なエネルギーを組み合わせ、国際連携を通じた持続可能で安定的なエネルギー供給体制への主導的役割を果たしたいとしました。 UAEのマリアム・アルスウェイディ上級副社長は、両国の女性キャリア開発友好委員会（FCW）から展開された10年間の取組と成果や、新たな取組としてクロスボーダー・メンタリングを紹介しました。特別講演では、フェシャラキ博士が、不安定な国際情勢の中でも世界の石油・ガス需要は急減せず、エネルギー転換期においても石油・LNGが重要な役割を果たし続けるとしました。

各講演資料は、下記プログラムよりご覧いただけます。

セッション1 “みらいを切り拓く人財戦略”



講演者：右から、岡田 元経済産業審議官、Ms. Alawadhi ADNOC副社長、Mr. Islahudin ペトロナス上級副社長・CHRO、寺嶋 ENEOS 技術計画部長

座長：寺本 光司 ENEOS
常務執行役員

岡田元経済産業審議官は、事業拡大に伴い必要となる新たな人財や専門性を如何に確保・育成するかご自身の経営経験から述べ、E&P（開発・生産）の本質でリスクに挑んできた石油産業の新たな挑戦への期待が示されました。UAEのアルアワディ副社長からは、ESGと人財戦略を軸としたサステナビリティと具体事例が紹介され、事業成長と社会的責任を両立させる取組が示されました。マレーシアのイスラフディン上級副社長・最高人事責任者は、エネルギー転換期に対応するため、人財育成の取組や、将来スキル・組織・企業文化を一体的に変革する人的資本戦略を紹介しました。寺嶋部長からは、ジョブ型人財マネジメントと能力の可視化による、スキルマップに基づく最適配置と技術承継の実現について説明されました。ディスカッションでは、人財戦略を巡り、AI活用を前提とする経営の在り方や、業務特性・企業文化への理解を踏まえた人財開発及び育成の重要性について、活発な意見交換が行われました。

各講演資料は、下記プログラムよりご覧いただけます。

セッション2 “社会実装へ向けたネットゼロ革新技術”



講演者：右から、Dr. Al-Otaibi Aramco R&Dセンター長、唐澤座長、Mr. Al Kharusi OQ グループCEOシニアアドバイザー、Dr. Oki Muraza プルタミナ副社長、松本 日揮CO₂マネジメントチーム・リーダー



座長：唐澤 俊之 日揮グローバル
執行役員、プロセステクノロ
ジー本部 本部長

サウジアラビアのアルオタイビR&Dセンター長からは、低炭素社会に向けた最先端技術と研究開発の取組による持続可能なエネルギーの未来像が示されました。オマーンのアルカルーシ シニアアドバイザーからは、技術革新と経済性を両立させる脱炭素の最新動向とともに、エネルギー転換がもたらす新たな価値と可能性が示されました。インドネシアのムラザ副社長からは、ダウンストリームの高度化と地域連携を通じ、アジアでの持続可能エネルギーの中核拠点となることを目指すとされました。松本リーダーからは、CO₂回収技術開発から大規模プロジェクト遂行、国際連携によるサプライチェーン構築まで、エンジニアリング面の強みが示されました。ディスカッションでは、ネットゼロ・脱炭素を社会実装するため、技術の組合せ、事業性、社会受容性を重視する実務的取組の重要性が共有されました。また、技術や企業努力に加え、政策や金融による後押しを含む「持続可能な脱炭素」を支える環境整備の必要性が示されました。

各講演資料は、下記プログラムよりご覧いただけます。

第44回 JCCP国際シンポジウム

揺れる世界、ソフトパワーが紡ぐサステナビリティ
－エネルギーの共創と進化

日時▶ 2026年1月29日(木) 10:00～17:30 ネットワーキングランチ 12:00～13:30

会場▶ オークラ東京 プレステージタワー 1F 平安の間

※各講演者の資料につきましては、下記「資料」をクリックにてご覧いただけます。 (敬称略)

10:00 - オープニング／基調講演・特別講演

挨拶：

(一財) JCCP国際石油・ガス・持続可能エネルギー協力機関 理事長／コスモ石油(株) 代表取締役社長 社長執行役員 西 克司
経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部長 和久田 肇

講演者：

タナカグローバル株式会社 CEO（元国際エネルギー機関 事務局長） 田中 伸男 資料

サウジアラビアエネルギー省 石油・ガス担当次官 マジェド ヒンディ アルウタイビ／サウジアラビア 資料

アブダビ国営石油会社 (ADNOC Drilling) シェアドサービス部門 シニアヴァイスプレジデント マリアム サーレム アル スウェイディ／UAE 資料

FACTSグローバルエナジー 名誉会長 フェレイドゥン フェシャラキ／アメリカ 資料

12:00 - ネットワーキングランチ

13:30 - セッション1 "みらいを切り拓く人財戦略"

座長：

ENEOS株式会社 常務執行役員 寺本 光司

講演者：

一般財団法人 国際経済交流財団 顧問（元経済産業審議官）岡田 秀一 資料

アブダビ国営石油会社 (ADNOC) サステナビリティ&ESG担当 ヴァイスプレジデント イーマン アルアワディ／UAE 資料

マレーシア国営石油会社(ペトロナス) シニアヴァイスプレジデント&グループ最高人事責任者 ルスラン ハリーム イスラフディン／マレーシア 資料

ENEOS株式会社 技術計画部長 寺嶋 文隆 資料

コーヒーブレーク

15:30 - セッション2 "社会実装へ向けたネットゼロ革新技術"

座長：

日揮グローバル株式会社 執行役員、プロセステクノロジー本部 本部長 唐澤 俊之

講演者：

アラムコ R&Dセンター ディレクター ファイサル オタイビ／サウジアラビア

OQ グループCEOシニアアドバイザー アル ムティール アル カルーシ／オマーン 資料

ブルタミナ 副社長・副最高経営責任者 オキ ムラザ／インドネシア 資料

日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創ユニット、インキュベーショングループ、CO₂マネジメントチーム、チームリーダー 松本 淳 資料

17:30 - クロージング

Facebook記事はこちら⇒

